

「アンチ・ドーピング」について

1. 平成28年度 ドーピング検査状況

大会名	検体数
ホッケー日本リーグ男子	8
ホッケー日本リーグ女子	8
全日本社会人選手権大会	16
国民体育大会	8
全日本学生選手権大会	16
全日本女子選手権大会	8
全日本男子選手権大会	8

合計72検体

ドーピング検査後の流れ

- 分析結果→1～2カ月後に分析が完了する。
- 結果通知→違反が疑われる場合のみ JHA へ連絡が入る。
- 個別に確認したい場合→JHA を通じて JADA へ問合せを行う。

2. アンチ・ドーピング規程の変更について

～2017年禁止表国際基準の改正～

禁止物質12項目及び禁止方法3項目の内、8項目が改正対象

【主な改正点】

「ヒゲナミン」……成分や生薬(南天・附子ほか)に含まれている。

もともと禁止物質(ベータ2作用薬)に指定されていたが市販薬、漢方薬、のど飴、サプリメント等に含有されることが諸外国において報告されているため、例として禁止表に追加された。

この他に禁止物質の詳細については、禁止表国際基準にて確認してください。
また、禁止表は期中に改訂される可能性もありますので、ご注意ください。

～検査及びドーピング捜査に関する国際基準の改正～

検査キットや結果管理手続きの方法が主な改訂になっている。
検査方法等、競技者が直接関わる点は変更がない。

3. 平成29年度に向けて

- 「治療目的使用の除外処置申請」について (冊子 P25～26参照)
- 未成年競技者親権者の同意書提出について (冊子 P32参照)
- アンチ・ドーピング関連資料 (冊子 P41～42参照)
- 教育啓発活動について